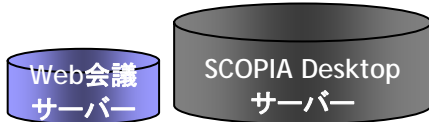


いつでも・どこからでも・だれとでもビデオ会議システム

経費削減とパンデミック対策を一挙に実現

最小のコストで**全社員・全拠点対象**の「**社外・在宅勤務**」を実現します

SCOPIA MCU



IP Network



特徴:

- ・SCOPIA MCUによるビデオ会議端末機とPCの混在が**無制限**に可能
- ・SCOPIA Desktop クライアント用ライセンスは**無制限に無料**
- ・PCでもHDをサポート、SDなら16画面分割でも帯域は384Kbps以下
- ・SDでも360p/4CIFをサポート、鮮明な画像*
- ・各クライアント毎に画面レイアウトが変えられるLecture Modeが可能*
- ・専用端末機及びPC間においてデータ共有が可能(H.239)
- ・Fire wall トラバーサル機能がビルトイン**(無料)**
- ・H.264SVC(世界標準に準拠)による20%程度のパケットロスも補完*
- ・H.264SVC対応、非対応製品の混在が可能*
- ・(各社)テレプレゼンス製品との接続*
- ・PC間でのP2Pでのコミュニケーションが可能**(オプション)**
- ・3G携帯電話との映像通信**(3G Gateway)**
- ・IBM Lotus Sametime, Microsoft OCS等との連携**(無料のプラグイン)**
- ・大規模な展開においても運用管理ソフトによる運転自動化**(無料)**
- ・録画(HD*,SD)、再生機能

* SCOPIA Elite

RADVISIONのMCU ラインアップ

SCOPIA Elite & SCOPIA Classic

●仕様は予告なしに変更する場合があります。●製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくは弊社のビジネスパートナー営業担当員にご相談下さい。●記載情報は2009年9月現在のものです。事前の予告なしに変更することがあります。●IBM, Lotus Sametimeは、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標です。●その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM, ® は明記していません。

Desktop Server Client

SCOPIA Desktop 製品仕様

高解像度の技術

- H. 264最大720pに対応したHDビデオ
- CPU認知機能を内蔵
- H. 264 SVCを利用した高いネットワーク耐性
- H. 264最大720pまで対応したHDプレゼンテーション

ミーティングのタイプ

- 会議主催者なしのミーティング - 誰でもミーティングを制御可能
- 会議主催者型のミーティング - ミーティングの制御には会議主催者用の暗証番号が必要
- パーソナルバーチャル会議室

データコラボレーション

- クライアントにビルトインされたH. 239データコラボレーション
- 会議室のシステムに最適なデータコラボレーションフォーマット (H. 263+・H. 264 HD)
- 1箇所の会議室システムから共有されたデータが、他の会議室やデスクトップなど全てのクライアントで参照可能
- 1台のデスクトップから共有されたデータが他のデスクトップや会議室など全てのクライアントで参照可能
- スクリーン全体、あるいは特定のアプリケーションの共有

レイアウトの選択

- ビデオ、あるいはデータ中心のレイアウト
- ビデオとデータを並列に表示するレイアウト
- フルスクリーンビデオやデータ
- 会議に適した自動レイアウト

ユーザー制御

- 消音 / 消音解除
- ビデオの停止/ポーズ/スタート
- ローカルのセルフビューの表示/停止
- ビデオレイアウトの選択(アクティブスピーカーあるいは画面分割)
- システムから、音声あるいはビデオ専用端末コールバック
- 一元管理されたコンファレンス参加登録者の参照(デスクトップおよび会議室)
- DTMFキーパッド

会議主催者の制御

- 会議主催者権限の取得(会議主催者用PIN番号が必要)
- ミーティングのロック
- 会議の終了
- 会議室システムあるいは電話機の招待(ダイアルプラン)
- ストリーミングの開始/停止
- 任意の参加者の消音、消音解除、切断
- 会議での発言/挙手要求

NATおよびファイアウォールトラバーサル機能を内蔵

- 追加コストなしでファイアウォールトラバーサル機能を内蔵
- ローカルとリモートのファイアウォールを通過させ接続性を確保
- ローカル及びリモートのNATプライベートネットワークを自動処理
- 最適なメディアパスの自動検出: UDP, TCP あるいはトンネル化されたTCP

ビルトインのストリーミング

- ストリーミングサーバー機能を内蔵による'視聴のみ'の参加者に対応
- 音声、ビデオおよびデータチャンネルの同時ストリーミング
- マルチキャストもしくはユニキャスト接続モード

管理

- コールの帯域管理
- 集中監視

スケジューリングと予約機能

- 容易にミーティングのスケジュールを可能にするOutlookとLotus Notes用プラグイン
- どんなブラウザからもウェブベースでミーティングのスケジュールが可能
- 大事なミーティングを確実に開催するためにポートの予約が可能

録画と再生(オプション)

- 高画質での音声、ビデオ、データ、及び注釈の録画
- 再生時は、ウェブを経由での容易なアクセス
- PIN入力によるアクセス時のセキュリティ対策
- 誰でも録画な権限もしくは、管理者による制限
- オフラインで視聴可能な録画保存機能

SCOPIA Desktop Pro 追加機能

プレゼンス機能を搭載したコンタクトリスト

- コンタクトリストへお気に入りのユーザとルームの作成
- 集中管理された内蔵型ディレクトリ
- ディレクトリからユーザ、ルームシステムを招待
- 別のユーザディレクトリへのコール
- アドホック会議へユーザを複数選択し招待
- 他のユーザへ自分のプレゼンスを公開
- 簡単な設定のみで、自分のバーチャル会議室を作成・接続

ミーティングのタイプ

- デスクトップとデスクトップ間でのコール

ディレクトリと認証

- ユーザとゲストのポリシー
- ローカルにキャッシュされた分散型ディレクトリ
- Microsoft ActiveディレクトリやIBM Lotus Dominoに組み込まれたWindows認証

SCOPIA Desktop 製品仕様

クライアントの接続モード

- 双方向通信を利用したライブ接続モード(音声、ビデオ、データ)
- SCOPIA Desktop間の接続向けP2Pコール
- SCOPIA Desktopサーバ接続向けグループ会議
- P2Pコールからシームレスに複数参加型会議への移行
- 会議主催者機能としてのデータのみ接続、オプションでのコールバック機能
- 双方向通信を利用しない視聴のみ参加者向けストリーミングモード(音声、ビデオ、データ)

標準と相互接続

- SCOPIAとのH. 323相互接続
- SIPでのP2Pコール
- STUN NATトラバーサル

セキュリティ

- SRTP 暗号化
- 待合室機能 - 会議主催者がセッションに参加するまでミーティングは開始されません。
- 事前に設定されたバーチャル会議室(ミーティング用に事前設定されたバーチャル会議室のみ)が使用可能なオプションモード¹
- ミーティング参加者によるコールバック機能の誤用を避けるために機能を無効にすることを選択可能
- ユーザ認証

クライアントコンピュータの動作環境要件

- オペレーティングシステム: Windows® 2003, Windows® XP, Windows® Vista™, Windows® 7, MAC® OS-X
- ブラウザ: Internet Explorer, Firefox, Safari

開発元 RADVISION Japan 株式会社

〒110-0016 東京都台東区台東1-32-8 清鷹ビル3F

<http://www.radvision.jp>

Tel 03-5816-8950 Fax 03-5816-8955

販売代理店